

川東の里だより

No.103

2019
1





年頭にあたつて

社会福祉法人 川東の里

理事長 松尾東司

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、平成三十一年の新春を健
やかにお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

また、昨年中は「川東の里」の事業
推進に当たりまして、関係機関をはじめ
多くの市民の皆様より温かなご理
解とご支援をいただき、心から感謝と
お礼を申し上げます。

この一年を振り返る時、北海道の胆
振東部地震を始め西日本豪雨や大型台
風の上陸など次々と大きな自然災害が
発生し、この厳寒期を迎えて、今なお
被災生活をされている皆様には心から
お見舞い申し上げます。

明るいニュースでは、北見のカーリ
ングチームが冬季オリンピックで大活
躍し、昨年の流行語大賞に「そだね！」
が選ばれるなど、元気と活力をもらつ
た一年でもありました。

一方、中央省庁等における障がい者
雇用数の水増し問題をはじめ、建築物
の安全に直結する免震ダンパーの不正
や若者の人生を左右する医科大学の入
試における不適切な合否問題など、人
の生命や基本的人権にかかるモラル
の希薄化が心配されるニュースが続い
た年でもありました。

先日、法人運営に関わる二つの研修
会に参加する機会がありました。

一つは、当法人の虐待防止委員会が
主管し「障がい者虐待防止法」の施行
を受けて今年で四回目となる全職員を
対象とした研修会で当法人の理事や監
事、評議員の方々も多数参加しました。
講師は、長野県の知的障がい者入所
施設で三十年に及ぶ支援活動を実践さ
れた方で、利用者の心に深く向き合う
「意図決定支援」の在り方を熱く語り・
伝える示唆に富んだ内容でした。

二つ目は、北海道社会福祉協議会が
主催して道内の社会福祉法人の役員等
を対象とした専門研修でした。

利用者の命を預かる法人として、緊
急の災害時を想定したBCP（事業繼
続計画）策定のあり方や、今日的課題
である地域における地域における公益
活動の取組みと展望について研修し、
改めて地域における社会福祉法人の使
命と役割を再確認するよい機会となり
ました。

今年は、平成から次の時代へと移る
節目の年を迎えますが、災害の無い、
明るい話題に溢れ希望に満ちた年であ
って欲しいと願っております。

本年も、法人役員をはじめ職員が一
体となつて、利用者の皆様が元気に樂
しく安全に生活できる福祉施設の運営
に一層努めて参りますので、どうぞよ
ろしくお願い致します。

社会福祉法人 川東の里

役員執行体制

理事長	松尾東司	副理事長	水口馨乃	常務理事	島田英夫
評議員会長	小池唯夫	相場雄幸	皆川和雄	小山穂積	栗田博行
評議員	竹ヶ原洋子	伊藤俊文	杉山茂樹	伊藤勝三	引地勝三
監事	村本慧乃	菅沼薰	中川勝彦	神田茂樹	大橋美恵
課長	工藤嗣巳	上坂和人	仁聰	柴山小百合	白石伸通

川東の里職員体制

施設長・管理者	島田英夫
参事	島田英夫
総務課長	皆川和雄
(事務取扱)	
きたみ学園支援課	
課長	工藤嗣巳
川東学園支援課	
課長	菅沼翠
友楽里・風楽里支援課	
課長	上坂和人
フレンズ・豆ちゃん支援課	
課長	仁聰
むぎわら・紺牛内事業所支援課	
課長	柴山小百合
グループホーム支援課	
課長	串崎聰
総合相談支援センター	
所長	天羽仁

『本当の気持ち』に出会うため

虐待防止対策ワーキンググループ 前 多 智 哉

去る十一月十七日に今年度の虐待防止等研修会を端野町公民館グリーンホールを会場に開催しました。

講師は、長野県飯田市にあります、社会福祉法人明星会理事長の宮下智様をお招きしました。宮下様は、今年の三月に『本当の気持ちと出会うとき』という著書で知的障がい者支援施設での三十年間に及ぶ当事者の意思決定支援の実践を公表されました。その著書に感銘を受け、今回、講師を依頼した次第です。

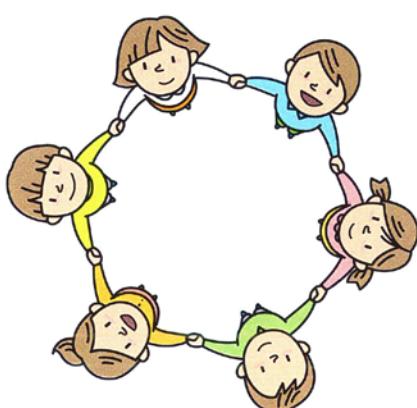
研修会の前半、基調講演では、当事者の意思決定支援を適切に遂行するため、「支援者側の意思受信能力を上げること」と「支援スキルを磨くこと」について、沢山の事例を紹介いただきながら、そのポイントを説明いただきました。意思決定支援では、当事者ご本人の「本当の

気持ち」に出会えるよう努めることが必要であり、そのためには、鋭い洞察力と的確な分析力、障がい特性に関する豊富な正しい知識、ご本人の気持ちに寄り添うことができる豊かな共感力、そして速やかに行動に移す実践力が必要であることを痛感しました。

桃缶を自宅から持ち帰る方、「ドラえもん」や「自転車」と呟く方、ある曲を繰り返し聴かれる方等、施設での暮らしでは何気ない日々の一コマに見えます。しかし、その一コマ一コマに当事者個々の大切な気持ちや意思が込められており、その「本当の気持ち」に出会うためには、支援者が利用者の言動に真摯に向き合い、誠意ある対応に徹することの重要性をこの講演で再確認することができました。

また、研修会後半は「事例検討会」として、入所施設と地域支援の二事業所から、一名ずつ事例発表を行い、その後に課題解決に向けた支援のポイントについて、宮下様からアドバイスをいただきました。宮下様の経験豊富な実践者から、当事者の視点を確認後、プロフェッショナルの支援者として、より適切な支援の提供に向けた指摘や助言をいただきました。それらは、私たちにとって明日からの支援のヒントであり、大きな宿題をいただいたと思っています。

今回の研修を通し、当事者を中心据える支援の在り方（パーソンセントード）を追求し、個々のリアルなニーズに真摯かつ適切に対応すべく、法人内の各事業所が、そして各支援員が支援力の向上を目指し、日々、努めていくことの必要性と重要性を確認できた貴重な機会となりました。



フレンズお歳暮ギフトを終えて

フレンズ 課長補佐

安 念 護

今年も無事にフレンズお歳暮ギフトを終える事が出来ました。

ご注文数も目標のセット数を超える事が出来、ひとえにご注文をくださるお客様、ご協力いただき関係者の皆様、そして頑張つて製造してくれた利用者の皆様のおかげであり心より感謝申し上げます。さて、私は、この法人にお世話になつて十八年になります。その間、お歳暮を十七回経験致しました。初めての年は、先輩の指示に従い何が起こつてゐるかもわからぬ状態で、ただ言われるがままに作業を行なつていきました。二年目からは、流れは理解しているものの年1回という事もあり作業をこなす事だけで精一杯でした。三年目くらいから仕事への理解も深まり新しい提案をしたりするなど主張的に作業に関われる様になつたように思えます。当時の先輩方から見れば、まだ未熟ではあります。フレンズお歳暮ギフトを終えて

したが少し自信をつける事が出来た時期でした。その後も年を重ね、経験を積み製造スケジュールや会計の管理をするなど中心的に進め立場になり今に至ります。この文章を書きながら、あらためて振り返ると随分長い期間、フレンズにお世話になつてきた事、また、一つの事業所に腰を落ち着けじつくりと仕事をさせていただけた事は、幸運な事だつたと感じております。

十七年間おりますと利用者の皆様も歳を見るもので、入つた当初の私に肉の切り方やハムの縛り方を教えて下さり工場の中心となり元気にお仕事をされてきた利用者の方ももう六十代となりました。最近は、「体が痛い、疲れる」といつた声も聞かれますが、「お仕事の量を減らしますか?」と尋ねると、必ず「頑張るから大丈夫」といつて頑張られております。

今後とも皆様のお力添えの程、何卒宜しくお願い致します。

りたい」「続けたい」といった声をいただきます。利用者の皆様にとつてハム製造作業は、楽しみでいるのではないかと思います。近年は、物価の上昇や嗜好の変化などがあり、明るい未来ばかりでは無いと思われます。それでも皆で知恵を出し、力を合わせて出来る限りハム製造を続けられるよう努力を続けてまいりたいと考えております。



利用者の皆様にハム製造作業の事を聞くと必ず「楽しい」「頑張



成人・還暦・古希を迎えた皆さん



古希

大野チエ子さん

- ・川東学園
- ・好きな食べ物
『アイスやゼリーなど甘いものが好きです』
- ・好きなこと
『歌を聞くのが好きです』
- ・一 言
『たくさん食べて、元気に長生きします♪』



古希

舛川和広さん

- ・川東学園
- ・好きな食べ物
『パン』
- ・長生きの秘訣
『ごはんを食べる事だと思います。』
- ・一 言
『ちゅーりっぷ班でモップやトイレ掃除、お風呂掃除をこれからも頑張っていきたいです。これからも家に帰省したいです。』



還暦

森至博さん

- ・緋牛内事業所
- ・還暦を迎えた感想は?
『嬉しいです』
- ・楽しみにしている事は?
『野球観戦、買物に行く事、パークゴルフ、外食』
- ・これからしてみたい事は?
『妹たちと旅行に行きたいなあ』
- ・今後の抱負を教えてください。
『北見に来て12年、川東学園で5年、グループホームに出て7年、北見に来て良かった。これからもにんにく作業をずっと頑張っていきたいです』



還暦

加藤弘幸さん

- ・むぎわら事業所
『養豚班にて作業頑張っております。』
- ・趣味 『わからない』
- ・好きな食べ物 『ラーメン』
- ・目標 『豚舎がんばる』
- ・一 言
『これからも仕事を頑張ります。』

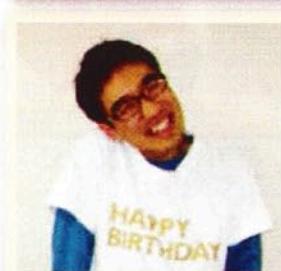


- 成人
- ・むぎわら事業所
『農耕班にて作業頑張っております。』
 - ・趣味 『テレビを見る』
 - ・好きな食べ物 『ハンバーグ』
 - ・目標 『やすまない』
 - ・一 言
『毎日通所するよう頑張ります。』



藤沢孝紀さん

- 還暦
- ・川東学園
 - ・好きな食べ物
『コーヒーを飲むことが好きです』
 - ・好きなこと
『相撲をして遊ぶことが好きです』
 - ・一 言
『色々な人が話し掛けてくれたら嬉しいな②』



- 成人
- ・むぎわら事業所
『農耕班にて作業頑張っております。』
 - ・趣味 『音楽』
 - ・好きな食べ物 『カレーライス』
 - ・目標 『もちつきがんばる』
 - ・一 言
『作業を頑張ります。』



菅野寛汰さん

- 成人
- ・緋牛内事業所
 - ・成人を迎えた今の感想は?
『嬉しいです!』
 - ・寛汰さんは何班ですか?
『友楽里 園芸班です』
 - ・寛汰さんは何をしているのが好きですか?
『車でドライブをしている時です』
 - ・寛汰さんの得意な事は何ですか?
『洗濯や掃除の手伝いをするのが好きです』



中村まいさん

- 成人
- ・緋牛内事業所
 - ・成人を迎えた今の感想は?
『あっという間に時間過ぎて早いなーと感じます』
 - ・まいさんは何班ですか?
『給食班です』
 - ・まいさんは何をしているのが好きですか?
『絵を描いたり、読書している時です』
 - ・まいさんの好きな食べ物は何ですか?
『お肉です』
 - ・まいさんの得意な事は何ですか?
『お米ときです』

・最後に今年の抱負をお願いします。『健康に楽しく頑張ります!』

・最後に今年の抱負をお願いします。
『出来る事を増やして、配食センターで頑張りたいです!』

就職しました



根本 悠助

(風楽里より平成29年10月に就職)

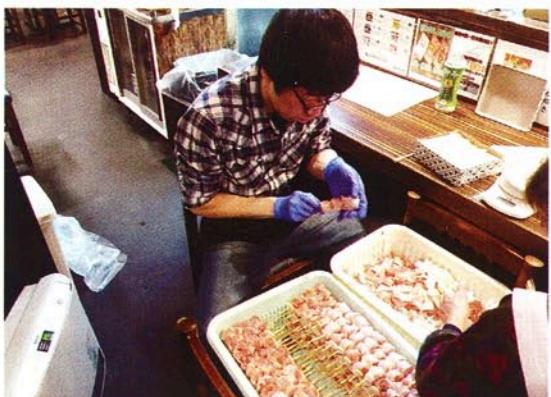
- 企業名／ルベシベ木材工業株式会社
(北見市留辺蘿町旭北36番地2)
- 業務内容／製材業(製材工場)

【根本 悠助さんのコメント】

勤務して1年が過ぎました。体力もつき、バランスのとり方も良くなってきました。毎日の仕事を通して、色々経験する中で、考え・覚え・努力することが大切だと思っています。就労移行の皆さん、就職を目指して頑張ってください。

【風楽里職員から一言】

体力面では心配もありましたが1年が過ぎ、他のスタッフからも信用されています。季節に影響される仕事ですが、身体に気をつけて頑張ってください。



佐藤 弘幸

(風楽里より平成30年7月に就職)

- 企業名／株式会社 ライフコーポレーション
- 事業所名／鳥若
- 業務内容／串打ち、店舗清掃

【佐藤 弘幸さんのコメント】

任されている以上は責任をもってちゃんと行っていき、仕事は仕事、プライベートはプライベートの区別をつけていく必要がある。気持ちが大切であり、働くという思いがなければ働く方が良い。気持ちを作つてからの就職を進めます。

【風楽里職員から一言】

手先の器用さでは誰にも負けない佐藤さん。仕事も串うちをスムーズに行え、これからも期待ができる佐藤さんです。

個	個	個	個	本		株	個	個	個
人	人	人	人	間	内	グリーンズ	人	人	人
小山	中島	高橋	水野	科	北見	北見	佐藤サエ子	佐藤サエ子	佐藤サエ子
穂積	大介	広子	星苑	医	見友	の会	様	様	様
様	様	様	様	院	様	様	様	様	様

寄付金
やさしいとこや スマイル 様
人 本田 節子 様
人 佐藤サエ子 様
人 佐藤サエ子 様

皆様からの
たくさんのご厚情
ありがとうございました。

～安心は、おいしいんです～



フレンズハム

北海道北見市川東226番地2 フレンズ
TEL 0157-22-6395・FAX 0157-22-6405



社会福祉法人 川車の里
生産物直売店

じねん

豆ちゃん豆腐店から移転

通常営業 9:30~17:30
定休日 日曜日・年末年始



北見市朝日町45番地(旧まるちよ歯科医院跡)
TEL(0157) 33-1090 FAX(0157) 33-1099

「亥」「猪」の肉には万病
さえも防ぐ予防があるとさ
れおり、亥年には「無病
息災」の意味もあるとされ
ています。
亥年は無病息災で病気に
はなりにくい年とはされて
いますが、無茶なことをさ
れた際に当然病気になる可
能性がありますので、
無理はしないようになります。
亥年は漢字を一文字で表すと『災』
と言ふくらい災害が多い年でした。
今年は、三十年続いた平成が終わ
り新たな年号に変わると言う記念す
べき年です。

昨年は漢字を一文字で表すと『災』
と言ふくらい災害が多い年でした。
北海道でも、地震による停電で全道
がブラックアウトになり電気の大切
さを痛感した年でした。又十二月に
なっても中々雪が降らないという異
常気象を思わせる天気でしたが中旬
には一面銀世界といういつもの冬景
色になりました。寒さも厳しくなつ
ております。インフルエンザやノロ
ウイルス等の流行の時期になりまし
た。規則正しい生活をして感染予防
に努めて下さい。

川東の里の職員一同利用者の皆様
が安心安全な生活ができるよう支援
に当たりますので宜しくお願ひ申し
上げます。

皆様が平穏に暮らせる年になる事
を心より願っております。

編集担当 菅野 富美恵

編集後記